『第17回日本モビリティ・マネジメント会議@松江大会』

# 山鹿-熊本線「休日学生限定!往復乗車券」 販売・PR継続と他路線への横展開について



産交バス宣伝キャラクター 産太くん 産交バス(株) 営業企画課 共同経営推進室 担当 西園 知哉

### 第1章 紹介

- ◆ 自己紹介
- ◆ 会社紹介

### 第2章 背景

- ◆ 利用促進のきっかけ
- ◆ 運賃弾力性に着目
- ◆ 休日学生限定! 往復乗車券

## 第3章 取組み状況

- ◆ 販売枚数推移
- ◆ 利用促進効果
- ◆ PR継続

## 第4章 横展開の状況

- ◆ 対象路線
- ◆ 販売枚数推移
- ◆ 利用促進効果

- ◆ 得られた知見
- ◆ 今後の展望
- ◆ お伝えしたいこと

## 第1章 紹介

- ◆ 自己紹介
- ◆ 会社紹介

### 第2章 背景

- ◆ 利用促進のきっかけ
- ◆ 運賃弾力性に着目
- ◆ 休日学生限定! 往復乗車券

## 第3章 取組み状況

- ◆ 販売枚数推移
- ◆ 利用促進効果
- ◆ PR継続

## 第4章 横展開の状況

- ◆ 対象路線
- ◆ 販売枚数推移
- ◆ 利用促進効果

- ◆ 得られた知見
- ◆ 今後の展望
- ◆ お伝えしたいこと

## 自己紹介



· 名前: 西園 知哉
Tomoya Nishizono

・生年月日:1994/11/17

・年齢:27歳

・出身:宮崎・関東

※熊本で人生6県目

・趣味:旅行・テニス

スポーツ観戦等

## 学生時代

- ・2013年 宮崎県立都城泉ケ丘高校 卒業
- ・2017年 日本大学理工学部交通システム工学科 卒業
- ・2019年 日本大学大学院理工学研究科 交通システム工学科専攻 修了



様々な地域に移り住む・勉強する中で 「**交通を通じて地方創生」**に関わりたい!



## 社会人

- ・2019年 九州産交バス(株)入社運行本部 山鹿営業所
- ・<u>2021年8月</u> 産交バス(株)出向 営業企画課 共同経営推進室 担当

## 会社紹介

◆ 九州産交グループについて

1942年創業(今年で**80周年**)

熊本県内中心にバス・旅行・飲食物販・不動産等の事業を展開







- かける 
  九州産交ランドマーク(株)
- 九州BMサービス株式会社
- ⑥ 九州産交プランニング株式会社



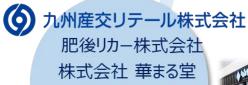


九州産交ツーリズム株式会社

株式会社 KASSE JAPAN











### 第1章 紹介

- ◆ 自己紹介
- ◆ 会社紹介

## 第2章 背景

- ◆ 利用促進のきっかけ
- ◆ 運賃弾力性に着目
- ◆ 休日学生限定! 往復乗車券

## 第3章 取組み状況

- ◆ 販売枚数推移
- ◆ 利用促進効果
- ◆ PR継続

## 第4章 横展開の状況

- ◆ 対象路線
- ◆ 販売枚数推移
- ◆ 利用促進効果

- ◆ 得られた知見
- ◆ 今後の展望
- ◆ お伝えしたいこと

## 利用促進きつかけ

◆ 2019年9月14日(土)熊本県内バス・電車無料の日

SAKURA MACHI Kumamoto開業に伴い九州産交グループが実施



※桜町BT14番ホーム(山鹿方面)







便数: 26便/日/片道(日祝ダイヤ)

所要時間:約1時間10分~1時間20分

片道運賃: **950円** (山鹿BC~桜町BT)

山鹿方面が大人気で普段の約**3.5**倍利用 長距離路線が故に**運賃弾力性が高い**可能性



一般的に運賃弾力性の高いとされる 「学生」・「非日常目的」・「休日」に着目し利用促進にチャレンジ

## 運賃弾力性に着目

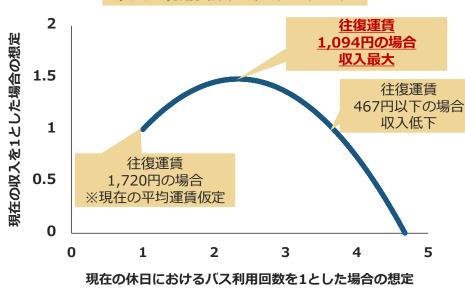
◆ 学生さんへのアンケート調査より運賃弾力性を計測

#### 重回帰分析 ※被説明変数:利用回数/月

説明変数	パラメータ	t値
定数項	3.2295	8.5190
往復運賃(円)	-0.0023	-15.2084
利便性評価	0.4204	4.1394
ヘビーユーザダミー	3.6928	14.5278
自由度調整済み決定係数	0.5771	
サンプルサイズ	342 (114×3ケース)	

<sup>※</sup> 往復運賃が変化した際の利用想定①現在②1,000円③500円の3ケースを質問

#### 収入・利用回数シミュレーション



運賃を適切に引き下げることで<u>利用増加・収入増加</u>の可能性



山鹿-熊本線「休日学生限定!往復乗車券」を 2020年7月25日より**通常往復運賃の約半額<u>1,000</u>円で販売** 

<sup>※</sup> 運賃が変化しても利用回数が変化しないヘビーユーザーをダミー変数で表現

### 第1章 紹介

- ◆ 自己紹介
- ◆ 会社紹介

### 第2章 背景

- ◆ 利用促進のきっかけ
- ◆ 運賃弾力性に着目
- ◆ 休日学生限定! 往復乗車券

## 第3章 取組み状況

- ◆ 販売枚数推移
- ◆ 利用促進効果
- ◆ PR継続

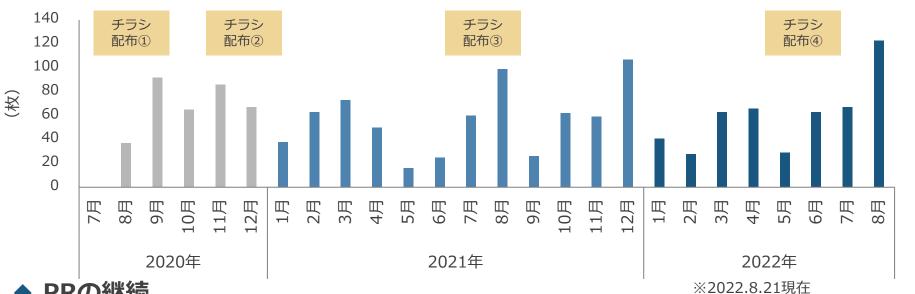
## 第4章 横展開の状況

- ◆ 対象路線
- ◆ 販売枚数推移
- ◆ 利用促進効果

- ◆ 得られた知見
- ◆ 今後の展望
- ◆ お伝えしたいこと

## 販売・PRの継続 ※現在は通年販売へ移行

## 販売枚数の推移



### PRの継続



学生さんに配布する チラシの裏には 社会的問題についても明記



チラシは学校の協力をいただき配布 <u>社会インフラと位置付けてもらうため</u> 活動・対話を継続することが必須

※行政の広報誌へも掲載を依頼(親御さん向け)

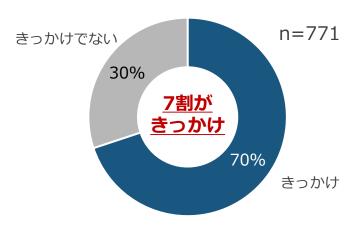
※2021年,2022年8月は全日利用可

新型コロナ感染拡大の影響を受けながらも 販売・PRをしっかり継続することで販売枚数は増加傾向

## 利用促進効果

◆ 効果測定アンケートより ※調査期間2020/7/25~2021/8

#### Q. 往復券がバスを利用するきっかけ?



◆ 回遊・消費行動調査より

#### 利用促進効果



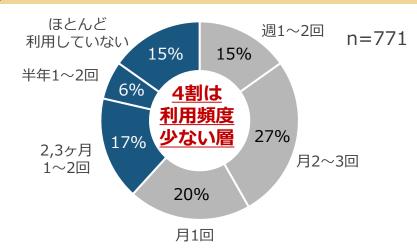






- ※販売枚数×7割(利用促進効果)
- ※販売枚数は2022.8.21現在

#### Q. 休日どれくらいの頻度でバスを利用している?



熊本市での平均消費額







3,584 円/人

※調査期間(2020/12~2021/8)

#### 消費効果





378 万円/人

休日に山鹿-熊本間を利用する<u>学生数は約3倍、収入は約2倍</u>増加した可能性 <u>バスの利用促進により消費効果も出た可能性</u>

※ 増収効果: 往復券がきっかけの場合は+1,000円 きっかけでない場合は-720円(平均運賃仮定)

### 第1章 紹介

- ◆ 自己紹介
- ◆ 会社紹介

### 第2章 背景

- ◆ 利用促進のきっかけ
- ◆ 運賃弾力性に着目
- ◆ 休日学生限定! 往復乗車券

## 第3章 取組み状況

- ◆ 販売枚数推移
- ◆ 利用促進効果
- ◆ PR継続

## 第4章 横展開の状況

- ◆ 対象路線
- ◆ 販売枚数推移
- ◆ 利用促進効果

- ◆ 得られた知見
- ◆ 今後の展望
- ◆ お伝えしたいこと

## 横展開の状況①中距離路線

## ◆ 対象路線





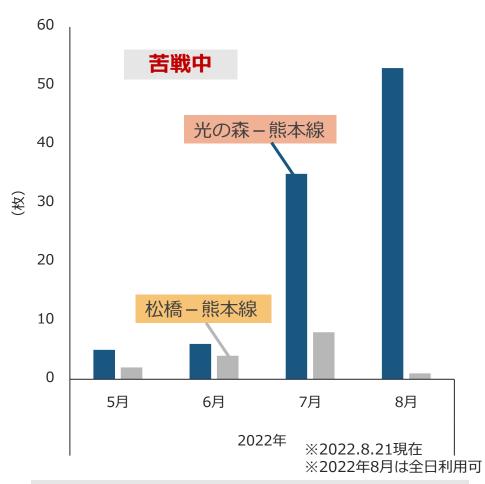


お別い合わせ 九州庭交バス 松橋安東州 TEL 0964-32-0856

各地域の学校・地域(行政)にご協力をいただき現場と一緒にPRを実施

## 販売枚数・利用促進効果 ①中距離路線

◆ 販売枚数 ※2022/5~

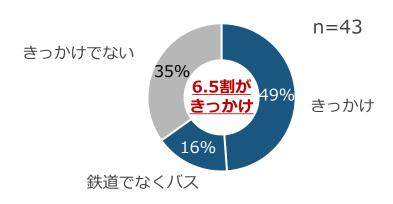


- ・単価が低く運賃弾力性が低い可能性
- ・競合モード存在(鉄道)影響の可能性
- ・郊外ショッピングモールの充実が影響か

## ◆ 利用促進効果

※光の森-熊本線

#### Q. 往復券がバスを利用するきっかけ?



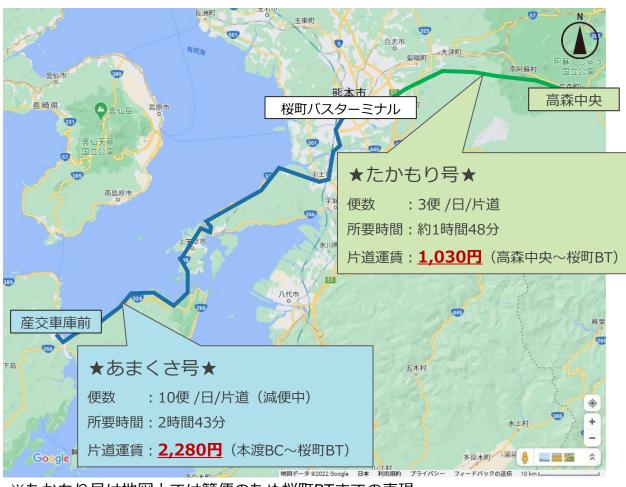
#### Q. 休日どれくらいの頻度でバスを利用している?



- ・販売枚数が現状少なく効果は限定的
- ・バス利用頻度が少ない利用者は存在
- ・鉄道から転換は僅かで全体需要の底上げ
  - ※競争を意識した施策でなくバスの需要を生み出すための施策

## 横展開について②長距離路線

## ◆ 対象路線





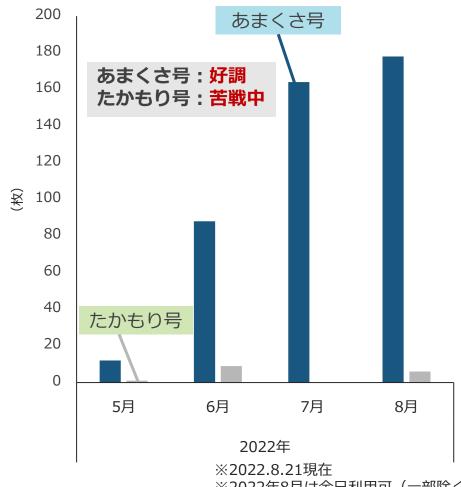




各地域の学校・地域(行政)にご協力をいただき現場と一緒にPRを実施

## 販売枚数・利用促進効果 ②長距離路線

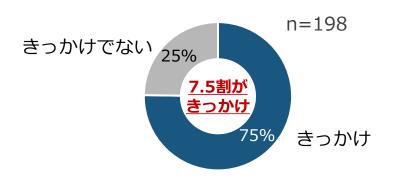
販売枚数 ※2022/5/14~



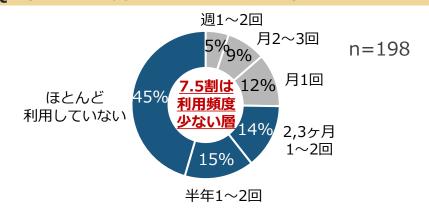
- ※2022年8月は全日利用可(一部除く)
- ・あまくさ号は運賃弾力性の高さが反映か
- ・たかもり号は便数・市場が小さい影響か

利用促進効果 ※あまくさ号

#### 往復券がバスを利用するきっかけ?



#### O. 休日どれくらいの頻度でバスを利用している?



- ・利用促進に大きく寄与している可能性
- ・割引を行っても増収に寄与している可能性

### 第1章 紹介

- ◆ 自己紹介
- ◆ 会社紹介

### 第2章 背景

- ◆ 利用促進のきっかけ
- ◆ 運賃弾力性に着目
- ◆ 休日学生限定! 往復乗車券

## 第3章 取組み状況

- ◆ 販売枚数推移
- ◆ 利用促進効果
- ◆ PR継続

## 第4章 横展開の状況

- ◆ 対象路線
- ◆ 販売枚数推移
- ◆ 利用促進効果

- ◆ 得られた知見
- ◆ 今後の展望
- ◆ お伝えしたいこと

## まとめ

### ◆ 得られた知見

- ✓ 運賃弾力性に着目した施策を展開することで 今までバスに乗らなかった・乗れなかった学生が乗れるように
- ✓ 利用促進だけでなく増収にも寄与する可能性
- ✓ 効果は地域により大小あるのでもう少し深く考察が必要(苦戦路線あり)

### ◆ 今後の展望

- ✓ 横展開の路線は今年度の効果を見て通年販売への移行も検討
- ✓ 販売して終わりではなく **継続的な活動**が重要(学生は入れ替わる)
- ✓ 商業施設側との連携も模索

## **◆ お伝えしたいこと**

- ✓ PR等継続の必要性
- ✓ 地域との連携の大切さ
- ✓ 効果測定の必要性(販売枚数だけでない)



## ご清聴ありがとうございました

# 今回はポスター掲示も行ってますので ご質問・ご意見等がございましたら お気軽にお尋ねください

産交バス(株)共同経営推進室担当西園 知哉(にしぞの ともや)

□: nishizono-tomoya@kyusanko.co.jp



一緒に公共交通を盛り上げていきましょう! 熊本の共同経営推進室へも是非お越しください